

相馬大野台応急仮設住宅

3/11



大修理を行った唐招提寺「金堂」の古材で作られた念珠をいただきました

慰霊と復興祈願のため被災地を訪れた奈良・唐招提寺の石田智圓長老が、2つの仮設住宅で講話を行いました。石田長老は柔和な表情で「長い間、大変な思いをされていますな」と講話を始め、開祖である鑑真和上の教えなどについて語りました。講話を聞いた皆さんは「親しみやすい方」「やさしい声をずっと聞いていたかった」と話していました。

国見上野台応急仮設住宅

3/12



石田長老のやわらかな声に包まれ熱心に講話を聞く国見仮設の皆さん

松川第二応急仮設住宅

2/27



和紙を貼る作業はおしやべりも楽しみなながら

集会所に集まり、25人の住民が、一閑張風の工芸を楽しみました。講師は佐藤美喜子さん(関根・松塚)です。ガラス瓶に和紙を貼った上に、古布や古文書を配置して、世界に一つだけの作品を仕上げていきます。講師も参加者も互いに冗談を言い笑い声を上げながら、されど手元は真剣に作業が進められていました。作品は乾燥させて後日柿渋を塗り、完成となりました。

こういうの好きなんだけど、今はなかなかやれなくて。やってみたかったの



市沢久子さん(深倉)

参加者に伝授する加藤さん(左端)



3/14

旧飯野小応急仮設住宅 旧明治小応急仮設住宅



長机に地域の方と村民が向い合って座り交流しました

一昨年から続いている飯野地区婦人会との交流会。5回目となる今回は、皆で「福島市まほろばマジック研究会」の加藤哲夫さんの講演を聴講しました。

加藤さんはユーモアたっぷりのマジックを披露しながら、健康に暮らすための心の持ち方などについて講演。約100人の参加者が共に笑い、楽しいひとときを過ごしました。

アルバム
自治会の
つながり
取り組み

飯野町団地

3/3

「ベビーマッサージ」「キッズマッサージ」の4回目の講習会が集会所で行われ、乳幼児とその保護者10組が参加しました。講師の佐藤由夏さんの指導に従い、リンパを流したり免疫を高めるツボを刺激したりしながら、ゆったりスキンシップ。直接ふれあうことで分泌が進むホルモンの作用で、親子双方の心も安定するのだそうです。

マッサージした後はぐっすり寝てくれます。気持ちがいいんだなあと思っています



古畑直美さん(宮内)と 怜桜(れお)君



ベビーマッサージで赤ちゃんもお母さんもリラックス

松川第一応急仮設住宅

松川第二応急仮設住宅

3/18

2つの集会所で、ピアニスト・森田基子さん、マリンバ奏者・みゆさん母娘によるコンサートが開かれました。企画したのは、音楽を届けて被災地支援を行う山口豪さん・知代子さん夫妻。村自治会への音楽のプレゼントは昨年5月のチェロコンサートに続き2回目です。木幡一郎自治会長が「今日の演奏と皆さんの志を胸に刻んでがんばります」と代表でお礼を述べました。

クラシックから民謡まで幅広く。「ふるさと」は皆で歌いました



私たちの方が感動をもらっています



山口さん夫妻

音楽に入りこんで聞いていただきました来てよかった



みゆさん 森田基子さん

3/9

相馬大野台応急仮設住宅



数種類の花の絵柄から好きなものを選びました。こちらはハイビスカス

村教育課主催の「ちぎり絵教室」が集会所で開かれ、仮設住宅の内外から21人が参加しました。ちぎった和紙の切り口や、重なる色の風合いで、一つひとつの作品に独特の美しさが生まれます。チューリップの花がモチーフの春らしい作品を完成させた佐藤敦子さん(大倉)は「わくわくして楽しかった」と初めてのちぎり絵を満喫したようでした。



福島市在住の秋谷幸子さん(写真中央)が講師。手順やコツを教わりました